

道連報告

平成17年度「食の条例」施行から3年を経過、条例の施策状況等を検討

『北海道食の安全・安心委員会』開催

条例施行後、3年目の今年度は条例の点検・検証の進め方や施策の実施状況、道民意見の聴取等の課題を踏まえ「第4回委員会」が2月17日に開催され、大滝道連常務理事が委員で出席しました。

当日議題は、次の4項目について議論。

- ①食の安全・安心条例等の施策状況に関する点検・検証結果（素案）、②遺伝子組み換え作物の栽培計画に関する調査結果、③遺伝子組み換え作物交雑防止検討調査事業、④遺伝子組み換え作物の栽培等による交雑等防止措置基準

食料を巡る情勢の変化に対応した食料の安定供給や自給力の強化が課題であること、地産地消・食の安全性に対する関心の高まりもあり条例の果たす役割はますます重要となること、我が国最大の食料生産地域である道は条例に基づく食の安全・安心への取り組みの

一層の充実が求められていることの3点を確認しました。

条例の基本理念や施策体系の見直しは必要ないが、重要な役割が求められる条例を北海道食の安全・安心基本計画に反映していくために、早期の見直しが必要であると論点整理をしました。

GM条例については、栽培計画に関する調査結果、コンセンサス会議、ワークショップ、大規模対話フォーラム、道民意識調査での意見等などの報告と、GM部会の報告がありました。組み替え技術の試験研究については推進すべきだが、遺伝子組み換え食品には不安を感じている道民意識は変わらず、引き続きGM条例の果たす役割は重要であり、条例の目的や枠組みを見直す必要はないのではないか、交雑等防止措置基準等については、食の安全・安心委員会の答申を踏まえて適切な対応をするという方向で終了しました。

灯油情報

2008年北海道灯油状況

異常な暴騰から4年前の価格66円台へ

北海道平均の灯油価格（1ℓ）は2008年8月に史上最高の133円台の異常な価格になりましたが、世界的な金融バブルの崩壊を経て、2009年2月にはピークから半値の66円台となり、安心感が広がっています。

世界的な金融緩和の中で主要穀物・原油市場に投資資金が過剰に流入し、2007年からいずれも異常な暴騰となりました。原油はNY先物市場で2008年1月に1バレル（約159ℓ）で初めて100ドル台をつけ、その後急ピッチで暴騰して7月に147ドル台の異常な高値となりました。

しかし、2008年9月、アメリカの金融バブルが崩壊すると穀物・原油などの市場から投資資金が流出し、また経済悪化からの需要減少が見込まれ、12月には40ドル台に暴落する状況となりました。灯油価格も下がる状況となりました。経済産業省はインドや中国の需要増があっても世界需給からは50～60ドルが原油の適正価格と見ており、概ねその範囲に戻ったと見られます。

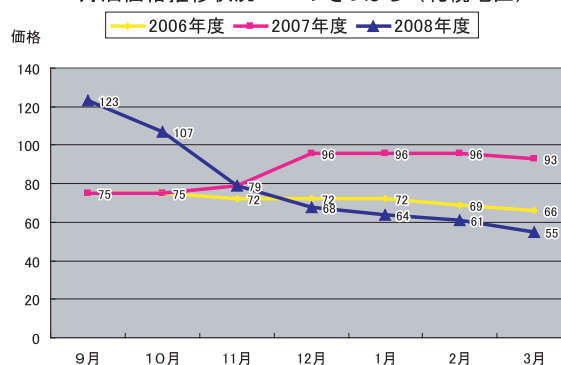
コープ灯油も2005年冬季の価格へ

コープさっぽろは3月16日に今年4回目の価格値下げを行い、札幌圏の定期配達価格を1ℓ55円としました。暖冬・節約・輸出不振で在庫が過多で卸価格が下がってきているとしています。55円台の価格は2005年1～3月と同じで4年ぶりです。

コープさっぽろは今年冬季間はマスコミを通じて価格発表して、プライスリーダーの役割を十分に発揮し、道内市況価格引き下げを索引してきました。

世界の金融・経済は混乱していて原油市場も急騰とはならないでしょうが、NY先物市場は上げ基調で、5月物で1バレル50ドル台の価格になっています。原油価格が基礎となる灯油価格も現在の水準が底と思われ、これで安定するとは思われません。

灯油価格推移状況 コープさっぽろ（札幌地区）



コープさっぽろ福祉活動交流支援センターは、福祉や助け合いにあふれた地域づくりに貢献（「組合員へのお約束」）するために、2005年から活動しています。

次の4つの活動目標を掲げて取り組んでいます。

- ①コープさっぽろ関連の福祉活動組織や団体の相互交流を緊密にしてネットワークを強めます。
⇒ 組合員の福祉活動（くらしの助け合いの会や福祉ボランティア活動）や財社会福祉基金の活動を支援しています。

- ②生協の活動と事業を福祉の視点で見直し、福祉マインドの向上を目指します。

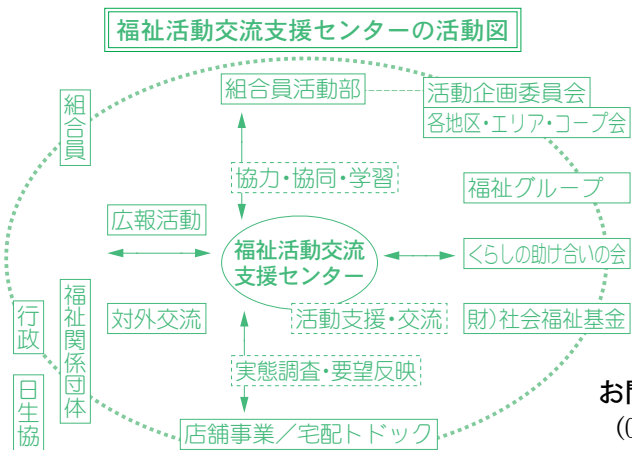
⇒ 福祉ファシリティ調査を実施、店舗の施設状況の実態把握や福祉マインド向上への取り組みを進めています。

- ③組合員の福祉・助け合い活動や福祉・社会保障などに関わる要望を把握し、学習活動を推進します。

⇒ 認知症サポーター養成講座の開催を推進、06～08年度全道70ヶ所で開催、1500名のサポーターが誕生しています。

- ④福祉助け合いにあふれた地域づくりを目指し他団体との協力・協同と対話を推進します。

⇒ 08年度は札幌市、社会福祉協議会の協力で「生活支援サポーター養成講座」モデル事業に取り組みました。



お問い合わせは、
(011) 671-5651へ



北海道住宅生協 家族の健康と住まいの健康、そして地球の健康を考える家づくりを推進!

住宅生協の家づくりは次の3つを基本理念として、人の健康や省エネ健康住宅、エコ、地球環境を考えて家づくりを推進しています。

- ・住む人の健康に配慮する家づくり
- ・丈夫で長持ちする安心・安全な家づくり
- ・地球環境を考える家づくり

自然素材である良質で優れた構造材や低ホルムアルデヒドの建材で安心・安全で長寿命・高耐久の家づくりを行っています。最近では、一般的に使用されている壁紙であるビニールクロス等の使用を減らし、自然からの恵みを受けた稚内産の珪藻土を主原料にしている健康塗り壁材のご利用をお薦めしています。稚内産珪藻土は北海道大学先端科学技術研究センターで開発された素材で、湿度を一定に保つ調湿機能、アトピーやアレルギー体質の方に有効な有害化学物質の質を分解除

去する吸着機能、アンモニア等の嫌なニオイを分解する消臭機能など驚異的な機能が多数あります。自然からの贈り物である人と自然にやさしい壁材で家族の健康・住まいの健康を一緒に考えてみませんか。新築住宅やリフォーム工事に稚内珪藻土をお薦めします。住宅生協にご相談ください。

お問い合わせは、
(011) 221-3310へ



☆☆☆北海道生協連の事務所移転について☆☆☆

当会は、4月25日(土)をもちまして下記の住所に移転しますので、お知らせいたします。現在の札幌駅・場所からは少々遠くなりご不便をお掛けしますが、今後ともよろしくお願いたします。 **引越日** 2009年4月25日(土)～26日(日)

〒003-0803
札幌市白石区菊水3条4丁目1-3 全労済北海道会館内
電話番号 (011) 841-8601 FAX番号 (011) 841-8605

【コープくらしの相談室】 消費者被害やくらしの困りごと等はお気軽にお電話を！
電話番号 (011) 841-9110

お知らせ